

ダブリンシティ大学

留学報告書

学部学科・研究科専攻	国際学部国際学科		留学時学年	2年
留学先	国	アイルランド	大学/機関	ダブリンシティ大学
期間	2026年 2月 7日 ~ 2026年 3月 8日			
	短期 ・ 中期 ・ 長期 ※○で囲んでください。		計	1ヶ月

[1] 参加したコースの時間数と時間割

- 授業時間数： 週20時間
- 科目名（受講した科目を全てご記載ください）： General English(GE), Buddy Chat Conversation Class(BCCC)

【時間割】

時間	月	火	水	木	金	土	日
例) 9時~13時	○	○	○	○	○	○	Free
9時~13時(GE)	○	○	○	○	○	free	free
14時~15時(BCCC)			○				

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

【例】 クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等

クラス人数：16人、国籍割合：日本人8割+外国人(フランス、韓国)2割、担当の先生：アイルランド人の若い女性、授業方法：対面、使用教材：Oxford University Press 'English File 5edition'

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

課外活動としてChat Clubやアイルランド国立美術館でのアクティビティに参加した。平日はCity Centreへよく行き、カフェに入ったりダブリン城、Phoenix Parkへ行ったりした。休日は少し遠出をしてHowthやGalwayへ行った。

[4] よく利用した施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

学食、売店、学内スーパー

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋__1__人で使用

様子：ホームステイだった。ホストファミリーはホストマザー1人とペットの犬が1匹。私にはハウスメイトが1人いて、関西の大学に通う日本人の女の子だった。私のホスト先は大学から遠かったので、現地時間の6時には起床し、毎朝1時間以上かけてハウスメイトと一緒に通学した。通学手段はバスと徒歩。朝ごはんは食パン2枚とシリアル。晩ごはんはホストマザーが作り置きしてくれたものとデザート（ヨーグルト）。ホストマザーは仕事に忙しい人だったので、会話をする時間はあまりなく、食事もハウスメイトと2人だけで食べた。洗濯は週2回で、シャワーは毎日浴びることができた。23時には寝るようにしていた。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

アイルランドが想像よりインターナショナルな国で、それを感じることができた点。また、日本とは異なる食べ物や街並み、風景や建物がたくさんあって、アイルランドという国を学ぶことができた点。

● 苦労したこと：

最初の1週間は生活に慣れるのに苦労した。土地、人、生活リズム、英語を英語で学ぶことなど

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

リスニング力の向上を感じる。

2) 専門知識の向上：

週ごとに教科書の単元が変わる。文法に関しては日本で学んだことをさらに詳しく学ぶことができた。ボキャブラリーに関して単元ごとに専門用語を知ることができた。

3) 自己成長など：

アイルランドの文化を実際に感じ、自分に取り込むことができた。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

アイルランドは日本から遠く、9時間という時差があります。でもアイルランドの人たちはとても優しく、食文化や歴史は日本と異なっていて、学びがたくさんあります。アイルランドでなくても、海外留学は日本と他国の良さを実感できる貴重な機会です。1か月という短い期間でも満足度は高いと思うので、ぜひ留学を検討してみてください！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

	内訳		金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	約 82 万円
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	0
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費・ホームステイ代など)	0
4	教材費		0
5	保険代		0
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		約 10.5 万円
7	個人的な買い物		約 4.5 万円
8	その他()		0
9	留学に関する費用 (1 から 8 の合計)		約 97 万円
10	受給した奨学金(奨学金名:)		0
11	留学に関する費用総額 (上記 9 から 10 を引いた額)		約 97 万円



